

人工衛星WorldView-2がとらえた「赤坂周辺」

データ提供：日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社

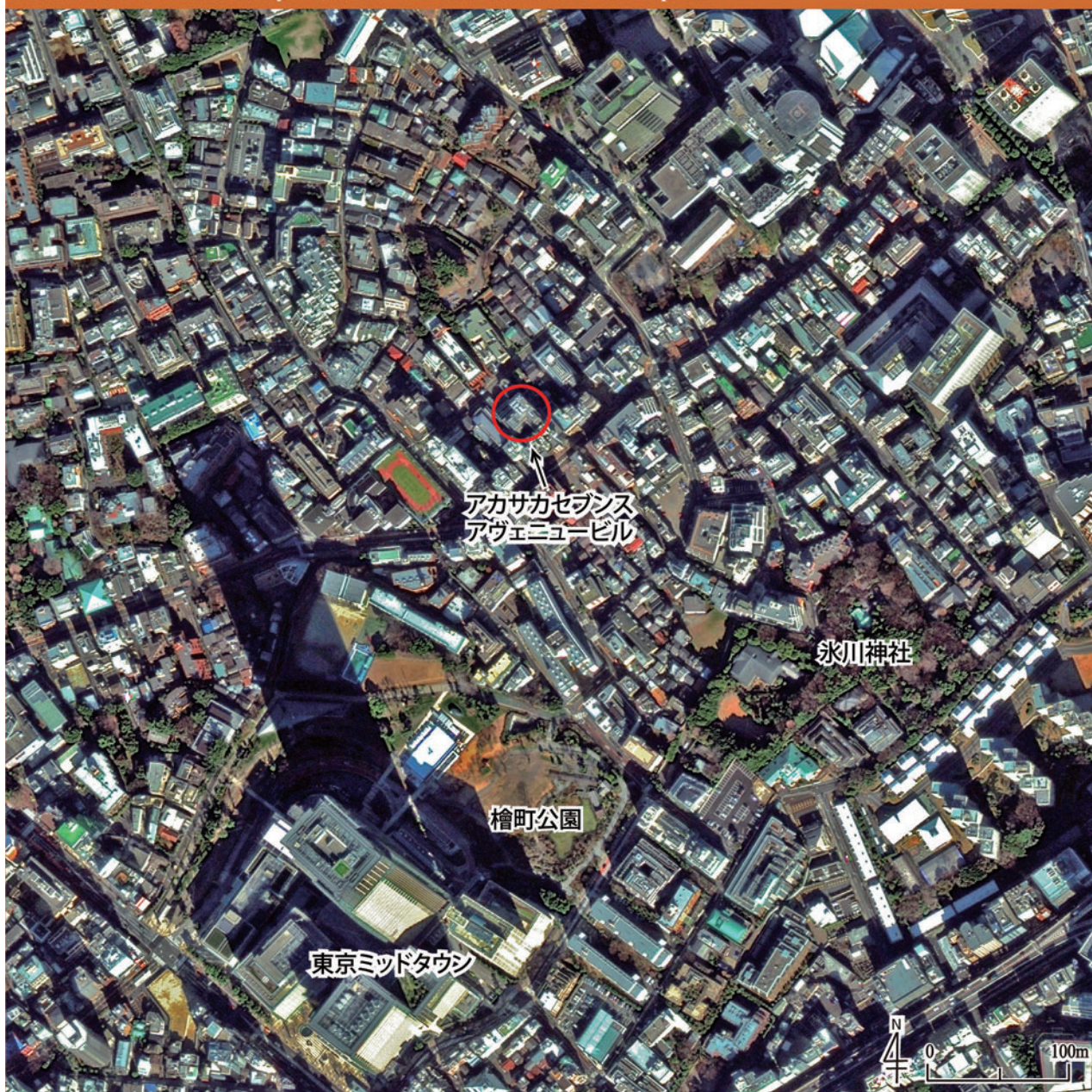
データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

前号に続き人工衛星WorldView-2から見た「国土の姿」を紹介していますが、本誌は100号・記念特集号になります。そこで、財団法人日本建設情報総合センター（JACIC）がある赤坂周辺のトゥルーカラー合成画像(Pan-sharpened image：地上分解能0.5m/画素として処理)を掲載してみました。Blueバンド（450～510nm）、Greenバンド（510～580nm）、Redバンド（630～690nm）と称される観測波長帯において観測されたデータをそれぞれ「青、緑、赤」のプレーンに割り当てて表示した画像です。左下部にミッドタウン・タワー（2007年3月30日オープン）が見えます。他のビルの影の長ささ比べて、ミッドタウン・タワーの影の長ささ驚かされます。都内で最も高く（高さ248m）、国内では4番目の超高層ビルであることを窺い知ることができます。この画像には影領域の画像濃度値を高める処理を施していますので、影領域内の地表面の様子がうっすらと現れています。高分解能衛星データ内の影領域の補正精度を向上させることは難題の一つになっており、今後の研究に委ねられています。

WorldView-2 Pan-sharpened image (True-color)

(C) DigitalGlobe / 日立ソフト

Observation date : January 24 , 2010 Ground resolution : 0.5m/pixel



Blue plane : Blue Band (450 ~ 510 nm)

Green plane : Green Band (510 ~ 580 nm)

Red plane : Red Band (630 ~ 690 nm)

過去の「国土の姿を見る」画像集は次のURLでご覧いただけます。http://www.jacic.or.jp/books/jacicjoho/kokudo/kokudo_index.html